

# ぐんま緑の県民基金事業の第 期 の 枠 組 み と 必 要 な 事 業 量 ( 案 )

資料 2

(単位:千円)

大項目	項目	事業名称	目的・内容	事業量(目標) 上段:5年間 下段:年間	目標設定の理由	見直区分	見直検討方針(案)	期事業費		期事業費(見込)		
								5年事業費	年間事業費	5年事業費	年間事業費	
森林環境の保全	水源地域等の森林整備	条件不利地森林整備 【実施主体:県】	立地等の条件が不利であることにより、林業経営が成り立たず放置されている人工林や <b>災害が発生する可能性がある人家裏等の急傾斜地の森林を整備し、森林の公益的機能の発揮を図る。</b>	3,500ha/5年 700ha/年  同上	条件不利な森林1万haを継続的に整備するには、5年間で3,500haの整備が必要である。	拡充	・ <b>災害が発生する可能性がある人家裏等の急傾斜地森林を対象化する。</b> ・ <b>労務単価の上昇より事業単価を見直す。</b>	2,065,000	413,000	2,170,000	434,000	
		水源林機能増進 【実施主体:県】	市町村が管理する簡易水道等の取水口の上流に位置する森林の水源涵養機能の増進を図る。	500ha/5年 100ha/年  同上	簡易水道等の水源林を整備するため、1年あたり100haを実施	継続	・ <b>労務単価の上昇より事業単価を見直す。</b>	250,000	50,000	310,000	62,000	
		松くい虫被害地等の復旧 【実施主体:県】	松くい虫被害を受け、やぶなどになった森林や <b>雪害などの気象災害にあった森林を再生し、森林の公益的機能の発揮を図る。</b>	200ha/5年 40ha/年  100ha/5年 20ha/年	既存事業の対象とならないものの、整備の要望が高いマツ林等100haの整備を実施。	拡充	・ <b>雪害等の気象災害にあった森林の再生についても対象とする。</b> ・第 期における実績単価を元に事業費を算出した。	363,800	72,760	252,500	50,500	
	小計								2,678,800	535,760	2,732,500	546,500
	ボランティア活動・森林環境教育の推進	森林ボランティア活動の推進 【実施主体:県】	森林ボランティアセンターを運営し、専用ホームページや情報誌による情報の収集・発信や刈払機の取扱いなどの安全指導、森林整備作業器具の貸出し等、森林ボランティア活動への総合的なサポートを実施する。	森林ボランティア 新規人数 200人/5年 40人/年  500人/5年 100人/年	森林ボランティア団体会員数を5年間で4,900人から5,400人へ増やすことを目標。	継続	・ 期のボランティアセンター開設費については、 期では必要ないので、事業費が減少となる。	81,000	16,200	62,500	12,500	
		森林環境教育の推進 【実施主体:県】	指導者の資質向上を図るための研修の実施、及び小中学生のためのフォレストリースクールや市町村提案型事業、緑の少年団育成事業などへの講師派遣により森林環境教育の推進を図る。	指導者数 100人/5年 20人/年  森林環境教育 参加者数 3,000人増/5年 600人増/年	今後、5年間で、県、市町村、団体主催による取り組みの充実、強化により森林環境教育参加者数を14,000人から17,000人に増加させる。 参加者数の著しい増加や高齢化等による指導者減少が発生した場合には、ニーズに対応するため指導者養成を再開する。	継続	・一定数の指導者を養成できたことから、 <b>資質向上を図るためフォローアップ研修の充実を図る。</b>	20,000	4,000	20,000	4,000	
	小計								101,000	20,200	82,500	16,500
	計								2,779,800	555,960	2,815,000	563,000

大項目	項目	事業名称	目的・内容	事業量(目標) 上段:5年間 下段:年間	目標設定の理由	見直区分	見直検討方針(案)	期事業費		期事業費(見込)	
								5年事業費	年間事業費	5年事業費	年間事業費
市町村提案型事業		市町村提案型事業	市町村と地域住民やNPO・ボランティア団体等との協働による地域に根ざした整備を支援する。	325事業/5年 65事業/年 1,750事業/5年 350事業/年	県内全市町村の要望する活動を支援	拡充	・取り組みの広がりを踏まえ、柔軟に対応する。 ・地域住民の高齢化等により整備後の地域による管理が難しくなっていることから、 <b>委託に対応した単価に見直す。</b> ・シカ等による植栽木への食害が多くなっているため、 <b>植栽箇所における獣害防止対策について対象化する。</b> ・竹林現場において、伐採した竹の処理が問題になっているため、 <b>竹を有効利用する場合の搬出等を対象化する。</b> ・森林に関心を持ってもらうため、 <b>森林と親しむ活動を対象化する。</b> ・ぐんま緑の県民税の認知度を高めるため、 <b>事業施行箇所に事業地看板を設置し、事業のPRを行う。</b>	1,292,250	258,450	1,400,000	280,000
	計								1,292,250	258,450	1,400,000
その他経費	制度運営	普及啓発	ぐんま緑の県民税への理解を深めるため、税のしくみ、森林の役割や重要性について普及啓発活動を実施する。	-	-	拡充	・ぐんま緑の県民税の認知度を高めるため、 <b>のぼり旗等を施行箇所に設置し、事業のPRを行う。</b>	25,000	5,000	30,000	6,000
		評価検証	事業の内容検討・実績評価・効果検証などを行う「ぐんま緑の県民税評価検証委員会」を運営する。	-	-	継続	・林業試験場による水源地域等の森林整備における間伐施行地の効果検証については、 <b>効果が実証されたため終了する。</b>	5,000	1,000	5,000	1,000
	計								30,000	6,000	35,000
合計								4,102,050	820,410	4,250,000	850,000